



第137回 信濃教育会総集会更埴大会

テーマ：信州教育の創造～未来を拓く職能の向上～

期日 令和5年7月1日（土）会場参加又はZOOM配信視聴による参加（会員限定）

会場 千曲市 信州の幸^{めぐみ} あんずホール（更埴文化会館）
〒387-0011千曲市杭瀬下1-64 Tel：026-273-1880

日程

◇受 付 8：50～ 9：15

◇開 会 式 9：20～10：00

会長挨拶，来賓祝辞，来賓紹介・祝電披露，「信濃の国」合唱など

◇パネルディスカッション 10：05～11：20

- ・テーマ：信州教育の明日を拓く～外部から信州教育に期待すること～
- ・パネリスト

マイクロストーン株式会社 社長	白鳥 敬日瑚 さん
筑波大学名誉教授	伊藤 純郎 さん
元文部科学省大臣官房総括審議官	大槻 達也 さん
・コーディネーター：信濃教育会会長	武田 育夫

◇ 休憩・準備

VTRにて教育研究論文，教育実践賞特選受賞者の喜びの声を放映

◇ ポスターセッション 11：40～12：30 ・各コーナーでの発表

- ・教育実践賞受賞者や応募者の発表
- ・オンラインでは教育研究論文，教育実践賞特選受賞者の発表動画を配信

《 昼食 12：30～13：15 》

◇ 講 演 13：15～14：45

講 師 国立情報学研究所
社会共有知研究センター長 新井 紀子 さん
演 題 AI時代にこそ，子どもたちにつけたい力

◇ 信濃教育会オーケストラによる演奏会

15：00～15：30

指揮者 木村美音子さん 信濃教育会オーケストラ常任指揮者
(洗足学園音楽大学講師)
演奏曲目 ビゼー作曲 歌劇「カルメン」第1組曲より

◇ 閉会式 15：30～

「ふるさと」合唱 など



信濃教育会総集会更埴大会を盛り上げる4人の若手会員



これまでの総集会は慣例的に、校長先生や教頭先生方が司会進行を務めてきました。

信濃教育会で実施したアンケートには、若い教職員もより参加しやすい総集会にしてほしいとの要望が寄せられていました。

そこで、今年からは、若い会員の皆さんが進行等をする総集会にします。

パネルディスカッション 10:05~11:20

テーマ：「信州教育の明日を拓く」

外部（産業界、学术界、行政経験者）から信州教育に期待することを語ってまいります

パネリスト（産業界） パネリスト（学术界） パネリスト（行政経験者） コーディネーター



白鳥 敬日瑚 さん
マイクロストーン社長。上田市出身。精密機器メーカーでの研究開発等を担当した後、同社を創業。高等学校スーパーバイザーとして、生徒向け講演会を多数開催している。



伊藤 純郎 さん
筑波大学名誉教授、旧高遠町出身。中等社会科教育学会会長等要職を歴任。信州社会科教育研究会講師、信濃教育会全県研究大会共同研究者等で県内の学校への指導も多い。



大槻 達也 さん
元文部科学省大臣官房総括審議官。箕輪町出身。文部科学省で多くの要職を歴任。現在桜美林大学教授として、大学のリーダー層の人材育成に取り組み。



武田 育夫
伊那市出身。元教学指導課長、元伊那中学校長、元長野県中学校長会長等を歴任。令和2年信濃教育会会長に就任。新たな時代の信州教育の創造に取り組み。

ポスターセッション 11:40~12:30

県下各地の学校で教育実践に励んでいる皆さんの発表の場です。

学校名	氏名・グループ名	タイトル
駒ヶ根市立 東中学校	小山 美香子	「造形実験」の試み～中学校美術科授業における全く新しい学習指導～
上田市立 第六中学校	西村 良幸	校内フリースクール「サポートルーム」での実践から見えてきたこと
東御市立和小学校	両角 千彬	プロの技を取り入れたトイレそうじシステムの実践

原村立原中学校	平塚 広司	2021年度「原中ワインをつくろう講座」より
駒ヶ根市立 東中学校	仙波 歩	『個別最適な学び』を目指した国語科の授業
飯田市立 龍江小学校	金澤 紗奈	総合「龍江とシャルルヴィル・メジェールの交流」を通して
安曇野市立 穂高西小学校	清水 克哉	特性を存分に味わい、その運動の特性を語り合う授業づくり
千曲市立 埴生中学校	遠山 恒輝	ICTの活用をしながら、新学習指導要領を中心においた、「どの子ども書ける」授業の構想
松本市立 田川小学校	小嶋 徳仁	「やりたいこと」を「やりたいやり方」で「やってみる」授業を通して、小学2年生「栽培活動」「飼育活動」
長野県屋代高等 学校附属中学校	国語・数学合同教科会	「オンライン×地域素材×教科横断」で創る主体的な学び ～武水別神社の「算額」を解く～
須坂市立東中学校	総合的な学習の時間係	問い続ける主体的な学びの姿を求めて
下條村立 下條小学校	全校研究推進グループ	全校研究校長部会「校長講話で使うグラフを作ろう」の実践を通して
長野上水内教育会	役員幹事会	『協働』を柱とした長野上水内教育会の取り組み
松本短期大学 幼児保育学科教授	山田 真治	唱歌・童謡の英訳化による学習指導
信州大学教育学部 附属長野中学校	木内 浩司	生徒自らが数学的表現の必要性に気付き、意味や価値を見いだしていく 単元展開の工夫～中学2年「箱ひげ図とデータの活用」の実践～
中野市立 高社中学校	太田 智明	「主体的・対話的で深い学び」を実現する「探究の対話（p4c）」つて、何？

講演 13:15～14:45

講師：新井紀子 さん

国立情報学研究所社会共有知研究センター長

演題：AI時代にこそ、子どもたちにつけたい力



信濃教育会の実施したアンケートでは、数年前から講演をお願いしたい方として名前が挙げられていました。多くの会員の要望が本年度の総集会で実現しました。



○経歴

東京都出身。一橋大学法学部入学。イリノイ大学数学科に留学し、同大学大学院博士課程数学研究科に進学。1990年に修士号を取得。帰国し一橋大学卒業後、専業主婦を経て、広島市立大学情報科学部助手を務め、2006年から国立情報学研究所教授

○主な著書

『ロボットは東大に入れるか（よりみちパン！セ）』（新曜社）、『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（東洋経済新報社）、『AIに負けない子どもを育てる』（東洋経済新報社）など多数

演奏会 信濃教育会オーケストラ 15:00~15:30

指揮者：木村美音子先生 信濃教育会オーケストラ常任指揮者
(洗足学園音楽大学講師)

演奏曲目：ビゼー作曲 歌劇「カルメン」第1組曲より



信濃教育会オーケストラのあゆみ

平成2年に16名で楽団を立ち上げる。「アルルの女第1組曲」を第104回総集會(松本市市民会館)で演奏する。以来毎年演奏を続けている。現在登録団員は120名。常任指揮者木村美音子先生の指導を受けている。

信濃の国

作詞 浅井冽
作曲 北村季晴

一 信濃の国は十州に
境連ぬる国にして
聳ゆる山はいや高く
流るる川はいや遠し
松本伊那佐久善光寺
四つの平は肥沃の地
海こそなければ物さわに
万ず足らわぬ事ぞなき

二 四方に聳ゆる山々は
御嶽乗鞍駒ヶ岳
浅間は殊に活火山
いづれも国の鎮めなり
流れ淀まずゆく水は
北に犀川千曲川
南に木曾川天竜川
これまた国の固めなり

三 木曾の谷には真木茂り
諏訪の湖には魚多し
民のかせぎも豊かにて
五穀の実らぬ里やある
しかのみならず桑とりて
蚕飼いの業の打ちひらけ
細きよすがも軽からぬ
国の命を繋ぐなり

昭和二十三年の県議会で分県問題審議の際、議場で自然発生的に「信濃の国」の大合唱が起こり、分県議決が回避されました。
『県歌「信濃の国」の誕生―県民愛唱歌の今と昔―』太田今朝秋氏著より



四 尋ねまほしき園原や
旅のやどりの寝覚の床
木曾の棧かけし世も
心してゆけ久米路橋
くる人多き筑摩の湯
月の名にたつ姨捨山
しるき名所と風雅士が
詩歌に詠てぞ伝えたる

五 旭將軍義仲も
仁科の五郎信盛も
春台太宰先生も
象山佐久間先生も
皆此国の人にして
文武の誉たぐいなく
山と聳えて世に仰ぎ
川と流れて名は尽きず

六 吾妻はやとし日本武
嘆き給ひし碓氷山
穿つ隧道二十六
夢にも越ゆる汽車の道
道一筋に学びなば
昔の人にはや劣るべき
古来山河の秀でたる
国に偉人のある習い

ふるさと

作詞 高野辰之
作曲 岡野貞一

一 兔追いかの山
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷

二 如何にいます父母
恙なしや友がき
雨に風につけても
思いいずる故郷

三 ころろざしをはたして
いつの日にか帰らん
山はあおき故郷
水は清き故郷

「日本童謡の会」が平成十五年に実施した全国アンケートでは、「好きな童謡」で「ふるさと」は第二位に選ばれている。

